
三題噺 「車」「萌えキャラ」「バトル」

ウリミッツ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

三題噺 「車」「萌えキャラ」「バトル」

【Nコード】

N2406Q

【作者名】

ウリミッツ

【あらすじ】

車ネタ、走り屋ネタの三題噺です。

車に詳しくない私が知ったかフルスロットルで挑戦してみましたw
なので、変なところがあってもご理解ください。(汗)

「車」「萌えキャラ」「バトル」

この峠の下りでバトルなんて、怖いもの知らずのバカかキチガイしかやらないさ。

ここ数年、仲間たちはそう言っていた。

週末の深夜になると甲高いエンジン音を響かせて、山の中腹のパーキングに走り屋たちが集まってくる。俺たちはそうして、毎週ただ純粹に「走り」を楽しんでいただけだった。

それが、俺がいない一ヶ月ほどの間に変わってしまった。

原因は深紅のCT9A。デカデカと萌えキャラが描いてある愚昧なランエボだ。

毎週、俺たちが走り終え解散し、最後にパーキングを出たやつの後ろについてパッシングをしてくる。下りでのバトルは原則禁止という、この峠のルールを知らない。おそらくは余所者だろう。

普段上りでしかバトルをしない俺たちは、地元と言えど下りに慣れているやつは少ない。そのせいもあって、今のところ勝ったやつは一人もいない。

それが、ここに集まる連中をイラつかせ、ムードを悪くしていた。

午前三時。

今日もイベントを終えて、パーキングから一台一台出てゆく。

「田中さん。下りなんて最近やってないんすから、無理して事故るのだけは勘弁すよ。あんなの無視してりゃいいんだから」

「オッケー、了解。まあ大丈夫さ。ただ久しぶりにやってみたくなっただけだ、下りを」

「じゃ、オレ先に行きますんで」

挨拶代わりにリアを滑らせて最後の仲間が出ていくと、幾筋ものタイヤの痕と、ゴムの焦げた臭いだけが残った。

虫の鳴き声もしない無音になった山の中で煙草に火を点け、深く吸い込む。

吐いた煙が、ゆっくりと漂った。

「ククツ。萌えキャラ、ねえ……」

久しぶりの下りのバトルに、自然に笑みがこぼれる。

「このFDSを、萌えさせてくれるかな」

硬いシートに座り、車のエンジンをかけた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2406q/>

三題噺 「車」「萌えキャラ」「バトル」

2011年1月26日11時12分発行